

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	DK202／政治学A(政治学理論) (Political Science A (Theories))		
担当者名 (Instructor)	面 一也(OMOTE KAZUYA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	SOX2710	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標(Course Objectives)

- 1 現代世界を築いた代表的な政治学理論を系譜的に習得する。
- 2 今日における実践的な政治課題について理解する。
- 3 上記の課題に対する応答可能性について批判的な考察力を養う。

1. Students will genealogically learn the representative political science theories that have built the modern world.
2. Students will gain an understanding of contemporary practical political issues.
3. The class will cultivate the ability to critically consider possibilities for responding to the above issues.

授業の内容(Course Contents)

今日の政治社会は、過去に現れた政治学の諸理論と、現実政治との相互作用のうえに成り立っている。政治の混迷や閉塞が叫ばれて久しいが、この事態から抜け出すためには、政界の表層的な動きではなく、より深層の根源的問題に関する学問的省察が、不可欠であると思われる。本授業では、現代世界を築いた政治学の代表的理論を、その成立の背景に遡りつつ概観しながら、そこに見出される政治的諸問題をめぐって、批判的に考察を行なう。授業の性質上、現実政治のアクチュアルな動向にも、できるかぎり目を向けていきたい。

Today's political society is founded on the interaction between politics in reality and theories of political science that appeared in the past. It has been a long time since calls for political turmoil and blockades, but in order to get out of this situation, academic introspection of deeper underlying problems, rather than of surface-level movements in politics, is essential. This class will overview the representative theories of political science undergirding the modern world, tracing the background behind the theories' formation, and will perform critical examination of the political issues unearthed. By its nature, the class will focus as much as possible on actual movements in real politics.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション
2. アリストテレス① 学問体系の整序: 古代政治哲学の確立
3. アリストテレス② 目的論的自然観: 自然における人間の位置
4. アリストテレス③ 人間: 最高善としての幸福、政治的動物(ゾーン・ポリティコン)
5. アリストテレス④ 国家(1): 善く生きるための共同体、実際の国家
6. アリストテレス⑤ 国家(2): プラトン批判、理想の国家
7. トマス・ホブズ① 機械論的自然観、近代政治哲学の開始
8. ホブズ② 人間: 善=快樂/悪=苦痛
9. ホブズ③ 自然状態: 飽くなき欲望追求から戦争状態へ
10. ホブズ④ リヴァイアサン: 死の恐怖に基づく絶対国家
11. フリードリヒ・ニーチェ① 文体の技法、キリスト教道徳への批判
12. ニーチェ② 近代デモクラシーへの批判
13. ニーチェ③ 末人と超人、大いなる正午、永遠回帰
14. ニーチェ④ 大いなる政治

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

とくに予習を課す予定はない。ただし、復習は次回授業の重要な土台になるため、予習の意味を兼ねて、次回授業までに復習を済ませること。復習の際には、ノートや資料を見返しながら、授業の全体的な流れをまず把握して、総論から各論の確認へ向かうとよい。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(70%)/リアクション・ペーパー(30%)

テキスト(Textbooks)

授業時に配布する引用資料を主に用いる。

参考文献(Readings)

1. 藤原保信、2005年、『西洋政治理論史(上)』、新評論 (ISBN:4794806736)
2. 藤原保信、2005年、『西洋政治理論史(下)』、新評論 (ISBN:4794806833)

参考文献の購入は必須ではないので、購入するかどうかは、第1回授業時の説明後に、各自で判断すること。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

注意事項(Notice)